

今年度JRC部は、3年生2名、2年生4名、1年生2名の8名で活動を始めました。本校JRC部の主な活動を紹介します。

	活 動 内 容
4月	<p>高文連JRC部協議会</p> <p>今年度の高文連JRC部の事業報告と役員生徒が決まる会です。</p> <p>あしなが学生募金</p> <p>ゴールデンウィーク期間に金沢駅で行われる募金活動です。病気や交通事故等で保護者をなくした子どもたちのために、二水生代表として毎年参加しています。新入生にとっては初めての募金活動ということで緊張し慣れないことも多かったけれど、一生懸命声を出して頑張りました。たくさんの方の温かい気持ちにふれることができ、感謝の気持ちでいっぱいになります。</p>
6月	<p>高文連JRC大会</p> <p>毎年高等学校JRC大会がいしかわ子ども交流センターで開かれます。赤十字の歴史、三角巾の使い方、心肺蘇生法の講座などにそれぞれ参加しました。他校の活動発表は自分たちのこれからの活動のよい参考になります。また本校は今年度防災教育講座の担当校にあたり、部員一同協力して講座の内容を考え運営、発表を行いました。防災教育について自分たちが改めて考える良い機会となりました。</p> <p>加賀百万石ツーデーウォーク</p> <p>金沢駅周辺で行われる「加賀百万石ツーデーウォーク」にボランティアスタッフとして毎年参加しています。会場の設営準備や、参加された皆さんに声援を送るスタッフ活動を頑張りました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
7月	<p>二水祭 募金活動</p> <p>今年度は、西日本豪雨の被災地に向けての募金活動を行いました。これは自分達だけで企画して行った今年最初の活動だったので、準備その他の段階から少し緊張しました。猛暑の中、何千人もの来場者の前で声を大きく出して頑張るのは大変でしたが、こちらも本当に多くの方々に協力していただき、たくさんの金額が集まりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。この活動はテレビの取材も受け、夕方の番組で放映されました！</p> <p>リーダーシップ トレーニングセンター</p> <p>今年度は台風のため急きょ中止となった活動ですが、青少年赤十字に関する知識や技術を学び他校との交流を深めるための毎年行われる2泊3日の研修です。小中高と幅広い年齢の人たちと一緒に活動することで、ここでしかできない有意義な経験ができます。</p>

<p>8月</p>	<p>24 時間テレビ チャリティー募金</p>  <p>24 時間テレビチャリティー募金活動に毎年参加しています。本当にたくさんの方に募金していただきました。ありがとうございました。募金していただいた方が気持ちよくなれるような声掛けを心がけました。夏の暑い日でしかも1日という長時間の活動でしたが、達成感はとても大きかったです。</p>
<p>9月</p>	<p>石川県 JRC 部救急法競技大会</p> <p>競技種目は第1問 心肺蘇生法（人工呼吸と心臓マッサージ） 第2問 三角巾（頭部擦過傷・左前腕部擦過傷の手当）でした。心肺蘇生や三角巾の手当てにおける正確さや素早さを競い合います。いい結果が残せるように毎日放課後練習しました。本校 JRC 部はここ数年優勝者や入賞者が出ていたのですが、今年は残念ながら入賞できませんでした。しかし救急法の大切さを知り、技術を身につける良い経験ができました。</p>  
<p>10月</p>	<p>金沢マラソン</p> <p>金沢マラソンのボランティアとして1年生が参加しました。</p> <p>赤十字ユースのつどい</p> <p>特に印象に残ったのは、外国からいらっしゃった JRC の方々とけん玉や竹とんぼ、お手玉などの日本の昔ながらの遊びを通して交流したことです。学校の授業ではなかなかできない貴重な経験をすることができた時間でした。</p>

今後も多くの活動でいろいろな方と接することを通して、私たちに今できることをしていきたいと思っています。

JRC とは Junior Red Cross の略で、「青少年赤十字」という意味です。

【ちなみに、日本赤十字（Japanese Red Cross）の略も JRC なんです。】

JRC（青少年赤十字）は、生徒が「赤十字」の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、さまざまな実践活動を展開します。特に「これをしなければならない」といった義務のようなものはありませんから、本校では、部員で相談して活動内容を決めています。

JRC（青少年赤十字）の実践目標は次の3つです。

- (1) いのちと健康を大切にする（健康・安全）
- (2) 人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する（奉仕）
- (3) 広く世界の青少年を知り、なかよくたすけあう精神を養う（国際理解・親善）



JRC 部の活動は、さまざまな経験をすることができ、将来に役立つことばかりです。

また、勉強はもちろん、生徒会、他の部活動との両立もできます。

自分のため、将来のために JRC 部へ入部しませんか？